

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.23

調査者	藤田 吾郎、井澤 和太、加藤 倫卓
情報ソースの刊行日	2020年4月22日
情報ソースの調査日	2020年4月24日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月1日
日本語タイトル	心臓血管の観点からCOVID-19を管理することの医療制度、公衆衛生、および経済的影響
情報ソース	Carter P, et al. Health system, public health, and economic implications of managing COVID-19 from a cardiovascular perspective. <i>European Heart Journal</i> (2020) 0, 1–2.
情報のカテゴリー	心疾患全般
発信地域	ヨーロッパ (イギリス)
DOI	10.1093/eurheartj/ehaa342
URL	https://academic.oup.com/eurheartj/advance-article/doi/10.1093/eurheartj/ehaa342/5823766
要約	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19は、ヘルスケア・サービスに対する将来の需要を増大させ、それは医療制度に長期的な経済的影響をもたらす。 費用対効果の高い戦略である心臓血管疾患の一次予防および二次予防としての心臓リハビリ(CR)の機会が失われたためである。 COVID-19感染予防、心臓血管疾患の一次および二次予防を呼びかける公衆衛生上の啓発メッセージを発信することで、医療制度への経済的影響も最小限に抑えられる。 二次予防に関しては、在宅CRと監視型CRの間で有効性に違いは認められないことが明らかとされている。 COVID-19パンデミック段階におけるCRサービスを制限する根拠はなく、回避可能な再入院を防ぐための備えを維持する必要がある。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19パンデミック段階において、医療経済の視点は重要。 CRは、公衆衛生および医療経済の側面から、可能な範囲で継続する必要がある。